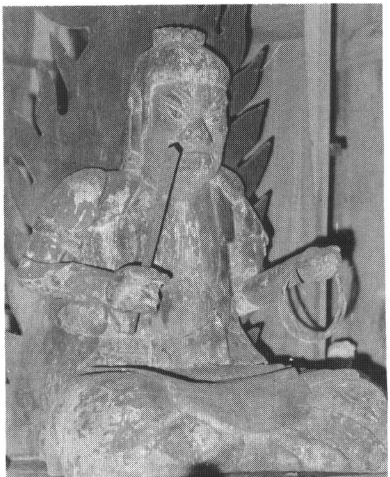
されている。姉比丘尼の供養のために建てられたものか、姉願堂と呼ばれ、ありがん堂となまったともいわれる。

また一説には、源氏の武将、村上貞行が八幡太郎義家が埋めた埋蔵金を探しに来て、見つからず、もどれなくて、姉が迎えに来てももどらず一緒に住んでいたが、この地で亡くなり、貞行は名を、大日坊と名乗り、姉の供養のために堂を建てたともいう。それを姉願寺といった。

大日坊は、のちに修業を積み、日置上人日尊となって、里守屋の満願寺を開いた人だともいう。

（話者　江連　栄）

滝不動堂



滝不動尊